



がん化学療法看護

外来 中村文美 13階化学療法室 明木千津子

ここ最近、がん治療薬に新たな薬(オプジーボ®)が登場しました。

自分自身の免疫機能を活用して、がん細胞を攻撃する免疫反応を利用した薬剤です。悪性黒色腫の治療から適用が始まり、非小細胞肺癌、腎細胞がん、頭頸部がん、胃がんなどへの拡大も進んでいます。

夢のような薬剤ですが、従来の抗がん剤と比べ作用も副作用も大きく異なります。自己免疫機能は身体の全体で働いているため、副作用も全身に多様に現れます。

注:ニボルマブ=オプジーボ



全身性の副作用が出現

間質性肺炎・大腸炎・糖尿病・肝機能障害・神経障害・甲状腺機能障害・腎障害・副腎障害・重症筋無力症・皮膚障害・血栓症など